

平成 16 年度国土施策創発調査

「北東北のグランドデザイン」に関する  
地域の自立・経済の活性化方策検討調査  
～「北東北ならではの」風景・景観資源の有効活用に関する調査～  
報告書

平成 16 年 3 月

国土交通省東北地方整備局  
青 森 県

# 「北東北ならではの」の風景・景観資源の有効活用に関する調査報告書

## 目 次

【要約編】	1
【本 編】	
序	13
<b>第Ⅰ章 北東北の風景・景観特性の把握</b>	
1. 自然に見られる特性	16
2. 歴史・文化に見られる特性	17
3. 生活・経済活動に見られる特性	18
4. 北東北各県における風景景観計画と取組みにおける特性の認識	20
5. アンケート調査及びヒアリングによる北東北の風景・景観特性の把握	21
(1) アンケート調査による北東北の風景・景観特性に対する認識の把握	21
(2) 地元有識者へのヒアリングによる北東北らしさの認識の把握	26
(3) 地域外の有識者へのヒアリングによる北東北らしさの評価	31
6. 北東北ならではの風景・景観特性の抽出	36
<b>第Ⅱ章 北東北の新たな地域像と風景・景観資源の集積及び分布の状況</b>	
1. 資源の集積及び分布状況の把握の視点	38
2. 新たなテーマに基づく北東北像のイメージ	38
3. 新たなテーマに基づく風景・景観資源の集積及び分布の状況	45
(1) 住民の活用に資するデータベース及びマップの構築のマトリックス	45
(2) 風景・景観資源の集積状況の整理 「北東北風景・景観データベース」の構築	46
(3) 風景・景観資源の収集範囲	47
(4) 風景・景観資源の分布状況 「北東北風景・景観資源マップ」の作成	48
<b>第Ⅲ章 北東北ならではの風景・景観の活用と守り、育てる方針</b>	
1. 地域社会の現状と資源の活用と守り、育てるための課題	57
2. 風景・景観資源の活用と守り、育てる基本方針	59
(1) 風景・景観資源の活用の基本方針	59
(2) 風景・景観資源を守り、育てる基本方針	62
3. 想定する活動創出分野	64
4. 活用モデルの例示	67
<b>第Ⅳ章 有効活用のための仕組みと体制づくりのあり方</b>	
1. 風景・景観資源の活用によって得るべき効果	74
2. 仕組みづくりと取り組みの展開のあり方	78
3. 体制づくりと役割分担のあり方	82
4. 施策としての具体化に向けて	83
資料；北東北の風景・景観資源の有効活用に関するアンケート調査票	86
【データベース編】	89

# 要約編

北東北には、新たな視点で再認識できる固有の歴史・文化的資質と、自然環境面での優れた資質を柱とする個性的な風景・景観資源が豊かに集積する。それらは、一体的な地域像として内外に発信することのできる「共通性」と、地域ごとに個性的・魅力的な「独自性」と、地域間相互が結びついて活力を創出し、ポテンシャルを増進できる「補完性」が備わっている。今後は、風景・景観資源の活用により北東北三県の一体性の強化を図り、多方面の協力を得ながら連携し、地域による活動を各地に創出し、具体の動きを通じて地域の資質を内外に発信することにより、地域活力の増進と地域住民の「生きる力」に結びつけていくことが望まれる。

北東北ならではの風景・景観	活用と守り、育てる基本方針	活用モデル	仕組みづくりと施策展開及び役割分担のあり方
<p>■四季の変化を楽しむ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>四季の変化を楽しむことのできる大自然が豊かに広がる</li> </ul> <p>■自然を敬い共生する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自然と共生し、自然から学んできた生活文化がある</li> </ul> <p>■縄文文化を伝える</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>縄文文化が受け継がれている風景・景観がある</li> </ul> <p>■生きがいの場を持つ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>独自の文化が花開いたまちが各地に存在する</li> </ul> <p>■交易の歴史を知る</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>舟運や歴史的街道の要衝に様々な文化が融合した歴史が残っている</li> </ul>	<p>■活用の基本方針</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎広域的に連携し、要素が多様に複合する拠点的な交流圏を形成することにより付加価値を高める</li> <li>◎都市と中山間地域との結びつきを強化し、中山間地域及びまちなかに交流需要を吸引する</li> <li>◎観光産業をはじめとして、1次産業などとの協働により地域経済を活性化する</li> <li>◎ふるさとを思う心を豊かにし、定住社会づくりを促す</li> </ul> <p>■守り、育てる基本方針</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎地域住民が、身近に存在する風景・景観の良さを再認識する活動を数多く作り出す</li> <li>◎行政による支援を得、また、経済的な基盤を強化して、保全・管理に当たる住民運動を育てる</li> </ul> <p>■活動創出の方針</p> <p>風景や景観の持つ意味の認識形成のための活動と、地域経済の振興に結びつけるための観光や地域産業分野等における幅広い分野で同時並行的に創出する。</p> <p>&lt;交流・経済振興のための活動&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎教育・生涯学習分野 <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育分野における「ふるさと再発見活動」</li> <li>・縄文や自然をテーマとする地域を学ぶ活動</li> </ul> </li> <li>◎地域間交流・市民活動分野 <ul style="list-style-type: none"> <li>・中山間地域への交流需要創出のための活動</li> <li>・様々なサークルや研究グループの文化活動</li> <li>・様々なテーマの交流イベント・キャンペーン</li> <li>・歴史的建築物を活用した文化芸術活動</li> <li>・四季の花飾り等の活動</li> </ul> </li> <li>◎観光分野 <ul style="list-style-type: none"> <li>・多様な要素の組み合わせによる広域観光</li> <li>・都市観光・まちなか観光等の時間消費活動</li> </ul> </li> <li>◎地域産業分野 <ul style="list-style-type: none"> <li>・農林水産業・伝統工芸・民俗芸能と観光等との融合による産業創出</li> <li>・農家の民泊受入れ等による経済活力増進</li> </ul> </li> </ul> <p>&lt;守り、育てるための活動&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎フィールドワーク・自然保護活動分野 <ul style="list-style-type: none"> <li>・清掃などの市民活動</li> <li>・教育・研究機関との連携による保全・保護活動</li> <li>・流域・里山環境づくり</li> </ul> </li> <li>◎グリーンツーリズム・エコツアー分野 <ul style="list-style-type: none"> <li>・中高年層の楽しみの増進の活用</li> </ul> </li> </ul>	<p>多様かつ複合的な楽しみ方ができ、加えて、遊びや癒しの要素を備える、広域的な広がりのある活動圏を形成し、内外から、観光需要やふるさとを再発見する活動を吸引する。特に、中山間地及びまちなかへの交流・経済需要の吸引に重点を置いて活用することが求められる。</p> <p>■北東北 縄文文化発信連携づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎縄文人の知恵を発見し、ふるさとの誇りとして内外に発信する</li> <li>◎民俗芸能や冬の祭り、食文化、伝統工芸などと結びつけて楽しみを倍増する</li> </ul> <p>&lt;主体形成の方向&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・既存の連携の輪の拡大を促し、広い情報ネットワークを持つ組織化を視野に入れる</li> </ul> <p>■美しい歳時記の郷づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎雪形に代表される生活の知恵の発掘と伝承</li> <li>◎農家の参画と組織化による体験学習の受入れ</li> <li>◎周辺の温泉や食、民俗芸能との複合化による観光需要や都市との交流需要の吸引</li> </ul> <p>&lt;主体形成の方向&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・将来的には、市町村や観光産業等による組織化が考えられる</li> </ul> <p>■ふるさと再発見・文化創造拠点づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎ふるさと再発見活動の展開</li> <li>◎地元経済界と有志、観光コーディネーターの参画による広域周遊圏やまちなか観光の企画</li> </ul> <p>&lt;主体形成の方向&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・行政と地元経済界との連携により活動グループや事業体を育成</li> </ul>	<p>■得るべき効果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎国内外に強い訴求力で発信する「北東北像」の確立による新たな文化・交流・経済圏としてのジャンプアップ</li> <li>◎北東北再発見ファンの掘り起こしによる観光躍進</li> <li>◎産業経済分野における新たな付加価値生産力の付与と事業者の創業促進</li> <li>◎中山間地域における雇用の創出と居住者の生活の安定</li> <li>◎ふるさと再発見活動やイベント、文化・交流活動などを通じた北東北躍進に向けた新たな社会潮流の創出</li> </ul> <p>■仕組みと今後の取り組みの展開のあり方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎重層的かつ多分野による広域連携体制の構築 <ul style="list-style-type: none"> <li>・三県の連携に加え、拠点的な圏域の広域連携体制の構築</li> <li>・経済界をはじめとする多様な分野への連携の幅の拡大</li> <li>・データの各方面への提供による活動の輪の拡大</li> </ul> </li> <li>◎多様な主体が参画する、地域による「活用プラン」の策定 <ul style="list-style-type: none"> <li>・拠点的な圏域を対象とする構想策定</li> </ul> </li> <li>◎地元による「ふるさと再発見活動」の支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域外の有識者を招き、巡回方式で定期的を開催する「地域塾」や「市民会議」等による気運醸成</li> </ul> </li> </ul> <p>■行政の役割</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎行政計画への位置づけと多主体への呼びかけ及びコーディネート</li> <li>◎活動の場や情報の提供、資金支援等のプラットフォームの構築</li> <li>◎高速交通網などの社会資本の有効活用</li> </ul> <p>■民間（団体）の役割</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎地元経済界や有志による企画立案・事業連携体の形成</li> <li>◎活用プラン策定及び具体化への主体としての参画</li> <li>◎各種イベントや交流活動の継続的展開</li> </ul> <p>■地域住民の役割</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎NPO等との協働による人的ネットワークづくり</li> <li>◎ふるさと再発見活動等への参画と輪の拡大</li> </ul> <p>■施策としての具体化に向けた方策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎地域が主体となった具体のアクションプランと事業プランの策定、並びに組織・体制づくりに結びつける</li> </ul>
<p>持続可能な社会形成に係る課題</p>	<p>■経済基盤を強化し、人口減少・過疎の進展を食い止め、持続可能な地域社会を担う人材を育てる必要がある</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域社会の維持のためには、生活の安定の基盤となる経済活力を維持強化することが必須であり、豊かな自然を生かして交流需要を吸引し、経済を創出することが必要</li> </ul> <p>■特に中山間地域において、公共交通サービスをはじめとする生活サービスの確保を図るとともに、生活にかかる負担（時間的・経済的負担）を軽減する必要がある</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交流をテーマにした新たな地域づくりの展開によって、狭義の生活支援に止まらず、地域間の連携交流や高齢者の社会参加を含む幅広い社会システム作りによって地域社会を維持していくことが必要</li> </ul>		

## I 北東北の風景・景観特性の把握

北東北ならではの風景・景観特性は、アンケート調査及びヒアリングによって得られた、地元に住居する人々の認識及び外部の有識者の評価と、自然や地域構造等によって概観した北東北の特徴を重ね合わせると、次の5つに集約することができる。

### ◎四季の変化を楽しむことのできる大自然が豊かに広がる

- ・自然の豊かさに対する評価は、アンケート調査及び地域に住居する有識者のヒアリングにおいて、北東北ならではの風景・景観特性として自然に関するものが飛びぬけて多いことに見られるように、地域居住者の意識に、ふるさとの原風景として広く共有されている資質であると考えることができる。
- ・地域外の有識者からも、ブナ林の豊かさや自然探訪の多様性は高く評価され、内外に共通する北東北ならではの資質として位置づけることができる。

### ◎自然と共生し・自然から学んできた生活文化がある

- ・北東北の広域分散居住と人が関与することによって保たれてきた自然の特徴は、自然と共生しつつ生活してきた、生活文化を表す資質と考えることができる。
- ・ヒアリングでも、雪形など、自然から学んだ生活の智慧を発掘し伝承する重要性が指摘されている。

### ◎縄文文化が受け継がれている風景・景観がある

- ・縄文文化に対する評価、あるいは認識は、地域居住者へのアンケート調査でも縄文文化を北東北らしさとして挙げた回答数ごく少ないことに見られるように、認識はまだ一般に十分浸透していない部分があると考えることができる。
- ・しかしながら、地域外の有識者へのヒアリングで、北東北に広く分布する縄文遺跡は、単に文化財としての存在だけにとどまらず、自然特性に縄文文化が凝縮して残されていると見られていることに表されるように、幅広く、奥行きのある領域に関係する原点として極めて高い評価を得ることのできる資質であると考えることができる。
- ・このことは、多様な分野に潜む縄文文化を解き明かすことによって、今後、北東北ならではの地域像を発信する原点として、大きなポテンシャルを秘めていることを示唆していると考えることができる。

### ◎独自の文化が花開いたまちが各地に存在する

- ・地域外の有識者へのヒアリングにより、中央から離れた地理的条件により、独自の文化を形成した都市やまちが各地にあり、各々に個性を発揮している点が、北東北の多様性を表すものとして高く評価されている。

### ◎舟運や歴史的街道の要衝に様々な文化が融合した歴史が残っている

- ・北東北における人・物の流動は舟運によるところが大きいという特徴があるが、要衝となっていた都市に残されている、多様な文化が融合したたたずまいや産業、歴史的建造物が高い評価を得ている。

## II 北東北の新たな地域像と風景・景観資源の集積及び分布の状況

ここでは、北東北ならではの風景・景観特性をもつ資源の集積や分布の状況を明らかにすることを目的として、主に既存の資料から資源を収集し、整理を行う。

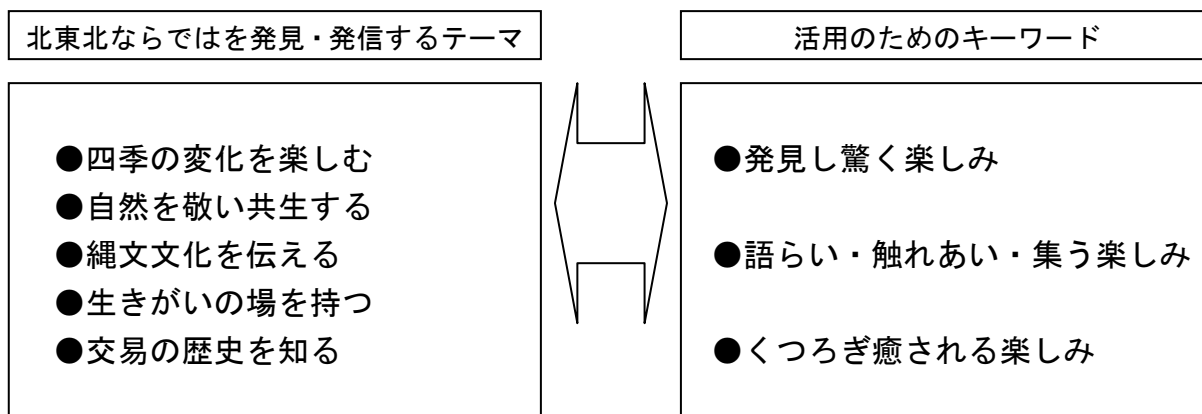
風景・景観資源の収集整理に当たっては、それらの活用による連携の展開を念頭におき、これまでに評価が定まっている資源にとどまらず、資源を活用しようとする地域の発想や今後の活用可能性が期待される資源を含めて、北東北のポテンシャルになりうる資源を見出すことを視点とする。

また、風景・景観資源の分類は、I章で抽出された特性に基づき分類し、さらに活用のためのキーワードを組み合わせてマトリックスで整理した。

具体的には、地域の人々が共有し、活用するためのデータの分類整理は、資源の特性や分野だけでなく、日常的な生活におけるアクティビティパターンに適したものとすることが求められることから、日常的なアクティビティパターンのうち、遊ぶ、あるいは楽しむことに関する、学び発見することに係わる行動、コミュニケーションすることに係わる行動、ゆっくりと休むことに係る行動の3つの形態に集約し、それを活用のためにキーワード化して組み合わせを行った。

さらに、分布状況をマップ化し、特性ごとの資源の集積状況や密度が視覚的に明らかになるようにした。このような形で北東北の風景・景観資源を収集整理した試みは、今後さまざまな用途に活用できるものとする。（活用法については、III章でふれる。）

このようにして明らかになった北東北の風景・景観資源の状況は、北東北の新たな認識と評価を導き出しうるもので、新しい北東北像の発信につながるものとする。



以上により収集したデータベース及び分布状況を示すと以下のとおりである。

	発見し驚く楽しみ	語らい・ふれ合い・集う 楽しみ	くつろぎ癒される楽しみ
四季の変化 を楽しむ (自然系)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●人に優しい自然と遊ぶ                             <ul style="list-style-type: none"> <li>* 国立・国定・県立自然公園</li> <li>* 世界遺産白神山地</li> <li>* 自然環境保護地域と特徴</li> <li>* 香り風景100選</li> <li>* 雪形(ゆきがた)</li> <li>* 自然を守り育てる活動</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●祭りの宝庫をめぐる                             <ul style="list-style-type: none"> <li>* 祭りカレンダー</li> <li>* 夏のはじける祭り</li> <li>* 冬祭り</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●心を癒す名湯・秘湯                             <ul style="list-style-type: none"> <li>* 北東北の名湯・秘湯</li> </ul> </li> </ul>
自然を敬い 共生する (農山漁村系)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●山野に囲まれた心地よいまちやむら                             <ul style="list-style-type: none"> <li>* 農林水産業関連文化的景観重要地域</li> <li>* 景観形成重点地区</li> <li>* 美しい日本のむら景観コンテスト受賞</li> <li>* 美しい日本の村景観100選</li> </ul> </li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>●北東北の聖地を巡る                             <ul style="list-style-type: none"> <li>* 山岳信仰(霊山・霊場)</li> <li>* 民間信仰</li> <li>* 歴史的な社寺</li> <li>* 義経所縁の古寺と周辺</li> <li>* 四寺回廊</li> </ul> </li> </ul>
縄文文化を 伝える (歴史系)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ふるさとの原点・ 縄文ワールド                             <ul style="list-style-type: none"> <li>* 縄文遺跡</li> <li>* 縄文をテーマとする研究・交流活動</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●縄文人の心に触れる                             <ul style="list-style-type: none"> <li>* 民俗芸能</li> <li>* 田沢湖芸術村とわらび座</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●受け継がれてきた 食の知恵                             <ul style="list-style-type: none"> <li>* マタギの食と森</li> <li>* 山菜・雑穀料理</li> <li>* 保存する知恵</li> </ul> </li> </ul>
生きがいの 場を持つ (都市産業系)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ふるさとの歴史を 学び・創る                             <ul style="list-style-type: none"> <li>* 歴史的街並み (重要建造物、美観地区・伝統的建築物群保存地区)</li> <li>* 都市景観100選</li> <li>* 弘前の洋館</li> <li>* 産業遺産(明治・大正期)</li> <li>* ふるさと眺望点(青森)</li> <li>* 残したい景観(岩手)</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●文化をつくり・発信する 場がある                             <ul style="list-style-type: none"> <li>* 活動グループ</li> <li>* 活動拠点</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●文学ロマンにふれる                             <ul style="list-style-type: none"> <li>* 宮沢賢治ゆかりの風景</li> <li>* 遠野物語</li> </ul> </li> </ul>
交易の歴史 を知る (交通系)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●歴史街道を行く                             <ul style="list-style-type: none"> <li>* 北方交易遺構(十三湊)</li> <li>* 北前船の寄港地と文物</li> <li>* 舟運の歴史</li> <li>* 歴史街道</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●旅人の見た北東北を行く                             <ul style="list-style-type: none"> <li>* 菅江真澄</li> <li>* イザベラバード</li> <li>* ブルーノタウト</li> <li>* 吉田松陰</li> </ul> </li> </ul>	